

研究費総額の見直しについて【平成28年度時点】（案）

資料1-2

プログラム・マネージャー (PM)	研究開発プログラムの見直し内容	上段：研究費総額の見直し内容
		下段：研究費総額の変更額(百万円)
伊藤耕三PM 「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」	コンセプトカーの実現に向けた主要な材料開発に大幅な進捗が見られたため、試作および実証実験を加速。	コンセプトカーを構成する部品設計及び、材料開発の予算を増額する。材料開発に関しては、コンセプトカーで必要な耐久性の高い材料の他分野展開も図る。
		3,500→3,800 (300増額)
佐野雄二PM 「ユビキタス・パワーレーザーによる安全・安心・長寿社会の実現」	小型レーザー開発の進捗がめざましいため、研究開発を加速し、新たな産業への応用展開を推進。	小型レーザーを社会実装するための予算を増額する。分析装置の小型化による装置の普及促進、並びに医療、インフラ保守等への展開を図る。
		3,000→3,270 (270増額)
佐橋政司PM 「無充電で長期間使用できる究極のエコIT機器の実現」	世界で初めてSOT-MRAMの高速性能を実証。出口を想定したシステムLSIで性能評価を実施。 ※SOT-MRAM：スピン軌道トルク磁気メモリ	高速な読み書きが可能な特徴を活かして、高速動作するシステムLSI内の内部メモリとして、世界に先駆けて実証評価を行う。
		4,000→4,286 (286増額)
宮田令子PM 「進化を超える極微量物質の超迅速多項目センシングシステム」	社会実装を早期に実現するため、細菌・ウイルス、PM2.5及び有害低分子を個別にセンシングするデバイス開発に注力。個別のデバイスで多種検知する開発に取り組む。	細菌・ウイルス、PM2.5及び有害低分子を全て同時に検知する統合デバイスについては、社会実装するニーズが明らかでないため中止。
		3,000→2,680 (320減額)